

取扱説明書

ホクエイ大型オイルサーバー HOS-ID361(屋内用)

- このたびは、本品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく使用してください。
- まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故、危険を招くことがあります。
- この「取扱説明書」は、大切に保存しておいてください。

目次



■安全のために必ずお守りください。……………	1
■各部のなまえ……………	4
■仕様……………	5
■配線図……………	6
■運転方法……………	7
■安全装置……………	8
■日常の点検、手入れ……………	8
■故障かな?と思ったら……………	9
■設置工事について (基本工事マニュアル参照)……………	10
■アフターサービス……………	10
■オイルサーバー保証書……………	裏表紙

安全のために必ずお守りください






安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- ここに示した事項は、 警告、 注意に区分しています。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合

- 図記号の意味は、次のとおりになっています。

  	禁止（してはいけないこと）を表しています。
	強制（必ず実施していただくこと）を表しています。
	注意（気をつける必要があること）を表しています。

警告

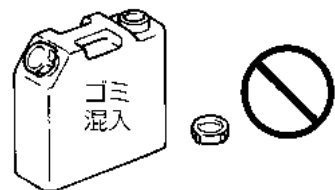
1. ガソリン厳禁

- ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

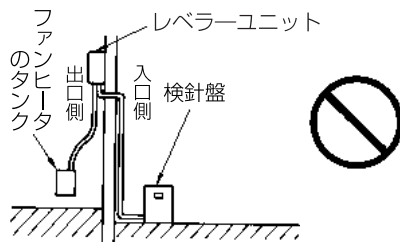


注意

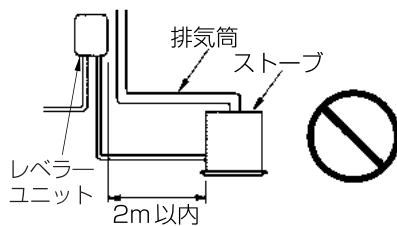
1. ゴミ・水分が混入した灯油及び劣化灯油は使用しないでください。本体内にこれらの灯油が入りますと、重大な故障の原因になります。



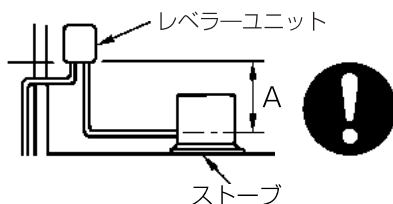
2. 本装置を使用して、ファンヒータのタンクなどに給油することは絶対にしないでください。
供給量制限機能がはたらき、灯油の供給を停止します。



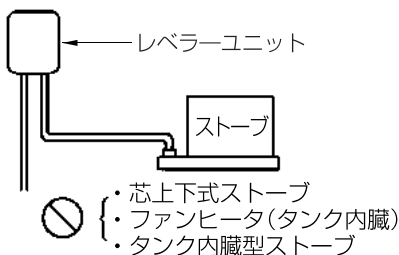
3. レバラーユニットから水平距離で2m以内の場所でストーブなどの火気を使用する機器を使用しないでください。また、レバラーユニットにストーブの燃焼筒や排気筒などが触れたり、近づきすぎないようにしてください。



4. レバラーユニットとストーブなど火気を使用する機器との落差(A寸法)は、各機器により定められた高さの範囲内で使用してください。(一般的には、40~250cmです。)



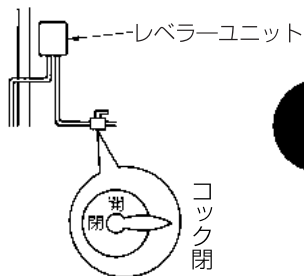
5. レバラーユニットは落差圧でストーブなど火気を使用する機器へ給油することを目的とした製品です。この為、定油面器または電磁弁などの油量制御器を有している機器でないと使用できません。万一、芯上下式ストーブなどの内蔵タンクに接続給油した場合は内蔵タンクより灯油があふれ出ることがあり非常に危険です。



6. 故障、破損したものは使用しないでください。
不完全な修理は危険です。万一、具合が悪くなって処置に困るような場合には、販売店にご連絡ください。



7. ストープなど火気を使用する機器を接続しない場合は、室内のボックスコックを「閉」にしてください。
「開」のままですと、灯油が流れだし非常に危険です。



8. 供給能力を超えて灯油を消費する機器は使用しないでください。
灯油の供給ができなくなります。



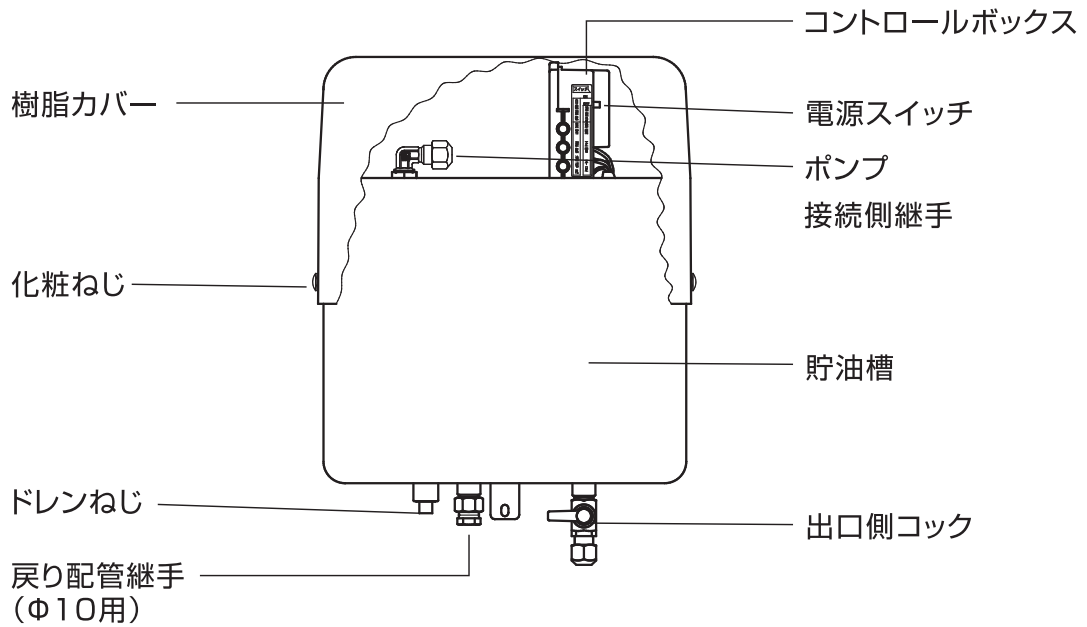
9. 点検、お手入れを必ず行ってください。
(詳しくは8ページをお読みください。)
油漏れ、故障の原因になります。



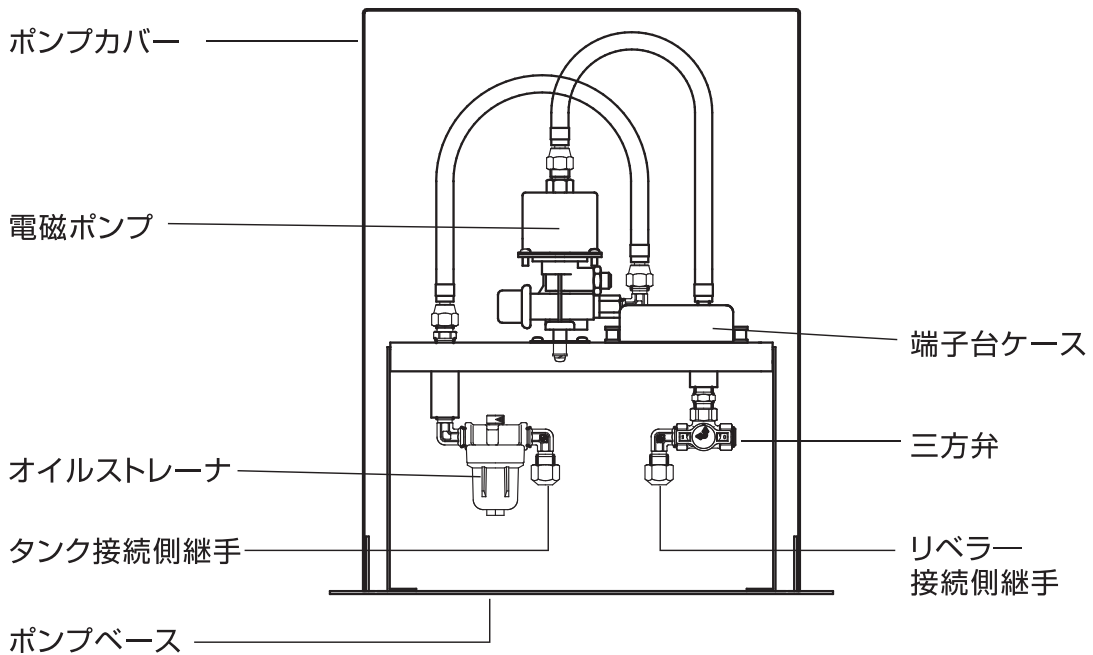
10. メインタンクが空の状態ではオイルサーバーを運転しないでください。
空運転は、オイルサーバーに内蔵した電磁ポンプの故障の原因になります。

各部のなまえ

レベラーユニット



ポンプユニット



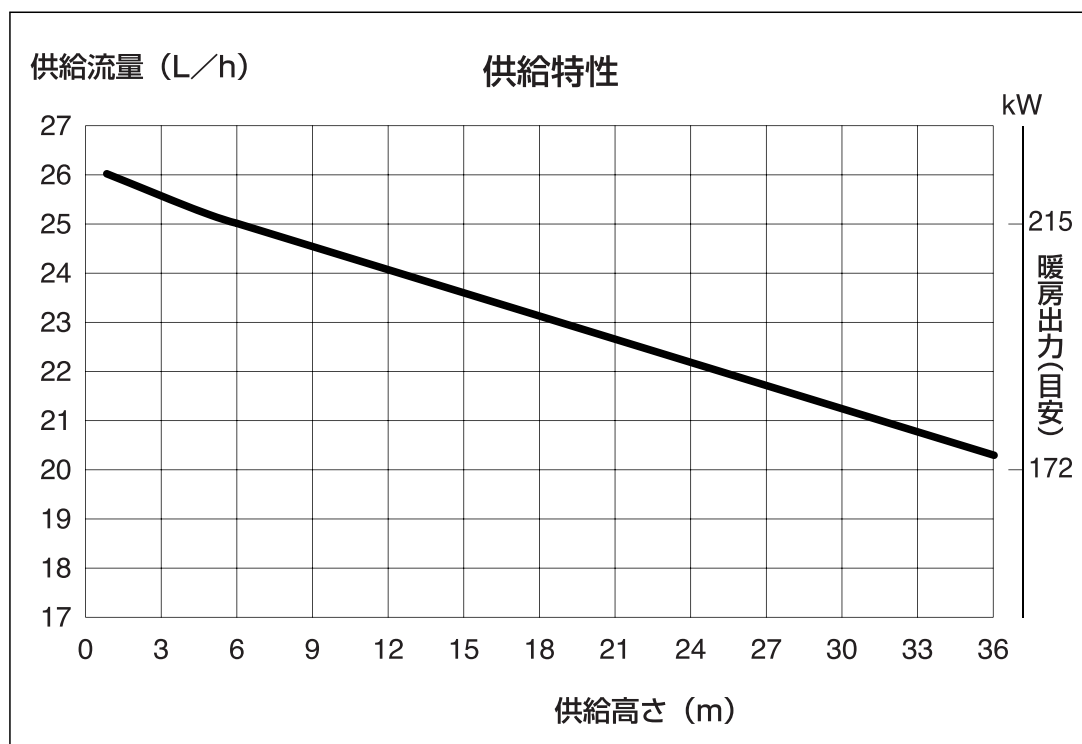
仕様

仕様

名 称	大型オイルサーバー
形 式 名	HOS-1D361
種 類	電磁ポンプ式
供給燃料	灯油 (JIS1号 灯油)
吐出揚程	36m(外径 8mm 銅管)
供給能力	25L/h (揚程6m)・20L/h (揚程36m)
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	35/33W
外 径 寸 法	レベラーユニット：259 (幅) × 158 (奥行) × 297 (高さ)
	ポンプユニット：304 (幅) × 140 (奥行) × 407 (高さ)
製 品 質 量	レベラーユニット：約3kg
	ポンプユニット：約7kg
設 置 場 所	レベラーユニット：屋内
	ポンプユニット：屋内又は屋外 (雪に埋もれない場所)
使用温度範囲	-20℃~+40℃

【注意】

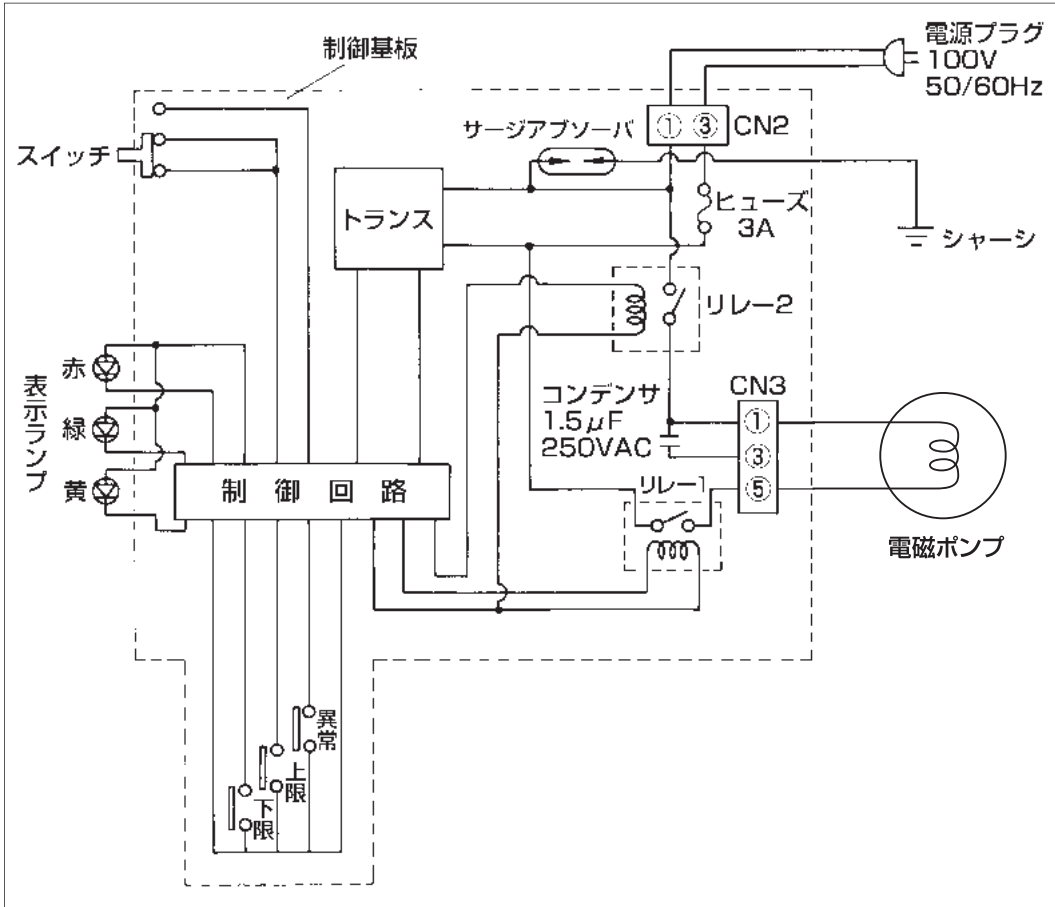
大型オイルサーバーは、ポンプユニットとレベラーユニット1セットで運転します。



【注意】

供給能力の余裕をみて、上表の7割程度の流量を目安として、ご使用ください。

配線図



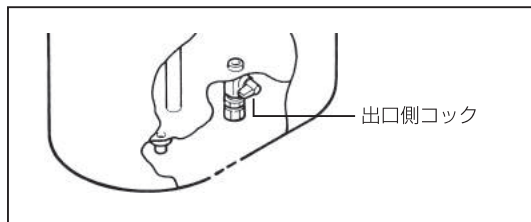
配線図

運転方法

運転方法

大型オイルサーバーの運転操作はレベラーユニット側から以下の要領で行います。

1. レベラーユニットの化粧ねじ2本を緩めてから、樹脂カバーをはずします。
2. 出口側コックを「閉」運転スイッチを OFF にしてから、電源プラグをコンセントに差し込みます。
・黄ランプが点滅し、「不足油面」であることを表示します。



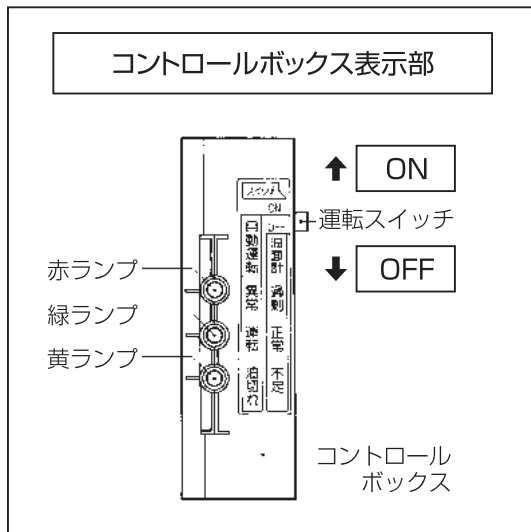
(注意)

運転スイッチが OFF の時は、表示ランプは液面位置を表示します。

3. 貯油槽上面のゴム栓をはずし、注油口から約3Lの灯油を入れてください。
(最大貯油量は、約4.5Lですので、灯油を入れ過ぎると電源スイッチをONにしても電磁ポンプが運転しません。)

(注意)

電磁ポンプ式の為、貯油槽内が空の状態からでも灯油を汲み上げる事は可能ですが汲み上げに10～15分程度時間がかかる為、空運転防止装置(15分タイマー)が働いて運転が停止する場合があります。
その際は、一度運転スイッチを OFF にして3秒以上待つて運転スイッチを ON にしてください。



4. 運転スイッチをONにします。
スイッチをONにすると同時に電磁ポンプが運転を始めて5～10分で運転を停止します。

(注意)

運転が停止した際、緑ランプが点灯していれば、正常に汲み上げが行われており自動運転モードとなります。
万一、黄色ランプが点灯した場合は正常な汲み上げが行われていません。
9ページの「故障かな?と思ったら」を参照して原因を取り除き、運転スイッチを一度OFFにしてから3秒以上待つて運転スイッチを ON にしてください。

5. 正常に汲み上げが行われたことを確認し、出口側コックを「開」にします。
6. 取り外したゴム栓と樹脂カバーを元の位置に戻し、化粧ねじでしっかりと固定します。

安全装置

1. あふれ防止装置

運転中に傾けた場合および万一フロートスイッチなどの電気部品の故障により油面が異常上昇をしたときに、赤ランプが点灯し運転を停止します。
(異常油面)

傾けてあふれ防止装置が作動した場合は、運転スイッチを一度OFFにしてから再度ONにすれば復帰します。それ以外の場合は故障ですので販売店に修理を依頼してください。

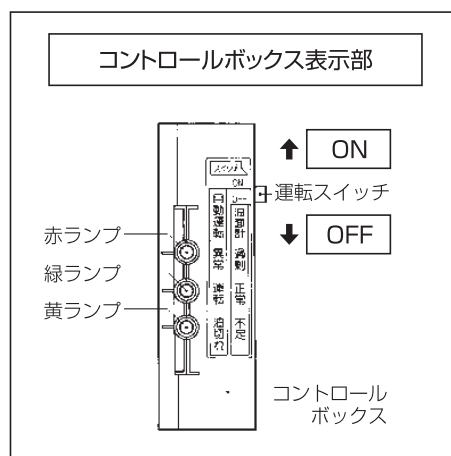
2. 空運転防止装置 (15分タイマー)

運転中にメインタンクが空になった場合や、電磁ポンプの故障等で灯油が汲み上がらなくなった場合、黄ランプが点灯し、「油切れ」を表示して電磁ポンプが停止します。9ページの「故障かな?と思ったら」を参照して原因を取り除き、運転スイッチを一度OFFにしてから3秒以上待って運転スイッチをONにしてください。

3. 連続運転防止装置 (30分タイマー)

万一、電磁ポンプのピストンロック等で連続して30分以上の運転が行われた場合、加熱防止の為赤・緑・黄の全てのランプを点滅させて異常表示し、運転を停止します。

このような場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



日常の点検・お手入れ

オイルサーバーの故障で最も多い原因は、メインタンクからの錆水の吸込みによるポンプ内部の摺動部品ロックです。

日常の点検、手入れはメインタンクのストレーナー部の錆水混入有無を確認してください。

錆水が有る場合は、メインタンクとメインタンクからポンプユニットまでの配管内の水抜きを行ってください。

(注意)

日常の点検、手入れで次のことは危険ですので絶対に行わないでください。

1. コントロールボックスの取り外しや分解
2. 端子台基板のカバーの取り外し
3. 電磁ポンプの取り外しや分解

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理・サービスを依頼するまえに次の表に従ってもう一度お確かめください。

1. 該当する現象を表中の「①現象」の項目で確認します。
尚、現象の項目の右側には表示ランプの点灯（点滅）状態も示していますので不具合現象と合わせて表示ランプの状態も確認してください。
2. 現象の原因と考えられるものを表中の「②原因」の項目で確認します。
(注意)
◎印または○印がついている項目が考えられる原因です。
◇印は、考えられる原因で停止している時の表示ランプの状態を示しています。
同じ運転停止でも表示ランプの点灯状態で考えられる原因が異なりますので参考にしてください。
3. ◎印は故障ではありません。
表中の「③処置方法」に従ってもう一度確認してください。
4. ○印は販売店に修理を依頼してください。

①現象	赤ランプが点灯した	ポンプが運転しなない	ポンプが運転する	スレバー内に灯油は流れない	運転音が異常に大きい	表示ランプの状態 (スイッチON時)				③処置方法
						全てのランプが点灯	黄ランプが点灯	緑ランプが点灯	全てのランプが点滅	
1.設置時に灯油の入れ過ぎ		◎						◇		油面を下げたからスイッチOFF⇒ON
2.電源が切れている		◎					◇			電源プラグ差し込み確認
3.電線(リベラーとポンプ間)未接続		○						◇		販売店に連絡し修理
4.誤ってレベラーを傾けた	◎									傾きを修正後スイッチOFF⇒ON
5.油面が正常油面上限にある		◎						◇		油面を下げたからスイッチOFF⇒ON
6.供給高さが高過ぎる			◎		◎		◇	◇		販売店に相談(高さを36m以下)
7.メインタンクが空でポンプ運転			◎		◎		◇	◇		タンクに給油後、ポンプエア抜
8.メインタンクのコックが閉である			◎		◎		◇	◇		コックを閉にする
9.ポンプ出口側三方弁が閉である			◎		◎		◇	◇		三方弁のコックを水平(開)にする
10.ポンプがメインタンクより高い			◎				◇	◇		販売店に相談
11.錆水によりポンプがロック		○	○				◇	◇		販売店に連絡及びメインタンク水抜き
12.灯油消費量が供給能力以上				◎			◇			消費量は供給能力の7割以下
13.メインタンクとリベラー間配管詰まり			◎				◇	◇		詰まりを解消する
14.リベラーの出口側コックが閉である				◎			◇			コックを垂直(開)にする
15.リベラーと燃焼器間配管詰まり				◎			◇			詰まりを解消する
16.上限フロートスイッチの故障	○									コントロールボックス交換
17.下限フロートスイッチの故障		○						◇		コントロールボックス交換
18.電磁ポンプ故障		○					◇	◇		電磁ポンプ交換
19.コントロールボックス故障	○	○					◇	◇		コントロールボックス交換

設置工事について（基本工事マニュアル参照）

以下の内容については、「基本工事マニュアル」を参照願います。

1. 据付場所の選定
2. 据付け、配管上の注意
3. 据付方法
4. 配管・配線工事
5. 据付け、配管後の確認

アフターサービス

1. 故障、異常等で処置に困るような場合には、お買上の販売店にご相談ください。
2. 保証期間中の修理は無料で行います。
ただし、保証期間中であっても有料となる場合があります。詳しくは保証書に記載の「無料修理規定」をお読みください。
3. 無料修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。
当社は販売店の注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
4. オイルサーバーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。
 - この期間は、経済産業省の指導によるものです。
 - 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

◆転居や据付場所を変更する場合

- 据付場所を変更される時は、お買上げの販売店、または専門の工事店にご依頼ください。
- 転居先でのアフターサービスの必要がある場合には、お買上げの販売店へご相談ください。

ホクエイオイルサーバー保証書

保証書	
形式名	HOS - ID361
お買上げ日	年 月 日 製造番号
お住所	〒 Tel () -
お名前	(ふりがな) 様
住所・店名・電話	
保証期間 1年	
本書は、本書に記載する内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から、上記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買上げ店又は最寄りの営業所へ修理をご依頼下さい。 裏面もご覧下さい	
株式会社 ホクエイ 札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号 TEL.(011)781-5111	

無料修理規定

- 取扱説明書、本体はり付けラベルなどの注意書に従った正常の使用状態で故障した場合には、お買上げ店又は営業所が無料修理を致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買上げ店、又は営業所にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示下さい。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご贈答品、ご転居などのために、修理がお買上げ店へ依頼できない場合は、最寄りの営業所へご相談下さい。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 保証書のご提示がない場合
 - 保証書にお名前、お買上げ日、お買上げ店名の記載がない場合、又はこれらの字句を書きかえられた場合
 - 使用上の誤り及びお買上げ店又は営業所以外での修理、調整、改造による故障及び損傷
 - お買上げ後の輸送、移動時の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷

- 故障の原因が本製品以外の部分にあって、それを点検修理した場合
 - 使用電源周波数を変更する場合
 - 消耗部品の取替え及び維持管理のための費用
5. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。
7. 純正部品をお使い下さい。
純正でない部品を使用した場合、本体の機能が損われたり、事故や故障の原因になることがあります。又、保証期間内であっても本体の保証が受けられません。

- * この保証書は、本書に明示した期間や条件のもとで無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- * 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店又は最寄りの営業所へお問合せ下さい。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理を致します。



株式会社 **ホクエイ**

本社 / 札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号 TEL (011)781-5111
FAX (011)784-2265
関東営業所 / 埼玉県上尾市原市3206-3江端ビル2階 TEL (048)721-9091
FAX (048)721-9081